

結い YUI

山梨県人権擁護委員会連合会
事務局発行
甲府市北口一―一―一九
甲府地方事務局
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。
土くさく、あたたかい言葉です。

平成十九年度定時総会開催される

〈講演は「自然と人間との共生」〉

山梨県人権擁護委員連合会の平成一九年度定時総会が、五月一八日、甲府市のベルクラシック甲府で開催された。例年どおり午前中に開かれた講演会は、冒険家風間深志氏による「自然と人間との共生」だった。

ではの迫力で語られた。その中で、自然と人間とが共生していくためには、循環型社会の形成が不可欠であるとの指摘があり、非常に説得力があった。

人権擁護課長 武安 均

「人権救済委員会」に期待する

本年五月一八日に開催された県連総会において「人権救済委員会」の設置が決まりました。皆さんご承知のとおり、今、人権擁護行政において最も強く求められているのが、人権侵害による被害者の救済です。その社会的要請を的確に理解し、いち早くそれに応えていこうとする、山梨県連の先見の明と意識の高さに心から敬意を表するところです。昨今の公務員削減政策の中で、委員に寄せられる国民の期待は、今後益々大きくなると思われまます。人権救済委員会の今後の活動に、大いに期待が寄せられるところです。



本年五月一八日に開催された県連総会において「人権救済委員会」の設置が決まりました。

謝状・表彰状の贈呈、来賓祝辞と滞りなく進行。議事に入り、一八年度の事業報告・収支決算および監査報告の承認に続いて、「人権救済委員会」設置についての提案があり承認された。(委員名などは二面参照)



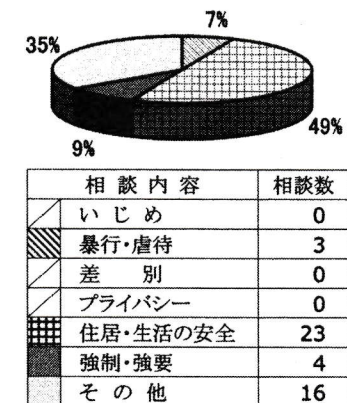
また、このほかの案件についても満場一致で原案通り決定された。

一九年度の役員は、会長に丸山公夫、副会長に笠井義彦、加藤麗蔵、藤巻英樹、佐野よ志み、網倉義久の各委員が就任し、監事には神宮司昭子、園田雅夫両委員が承認された。

また、今回退任された副会長の土橋伸介、小林一夫、早川陽一朗各委員に対して、

長年のご苦勞をねぎらい、満場の拍手の中で感謝状と記念品が贈呈された。

各協議会でも総会開催



甲府協議会は四月一九日甲府市総合市民会館において、都留協議会は四月一七日都留市文化会館において、峡南協議会では四月二五日市川三郷町六郷公民館において、それぞれ総会が開催され、議事は予定通り終了した。特色ある活動として峡南協議会では、事業計画に年三回の自主研修会と人権教室を組み込み、前年度の実績をもとに更に充実した活動を推し進めるよう企画している。

また、都留協議会では、委員の研修を深めるため、総会と講演会を同時開催した。また協議会独自の研修会を二月に予定している。

昭和二四年六月一日に人権擁護委員法が施行されたのを機に制定された「人権擁護委員の日」には、例年、全国一斉に人権相談所が設けられているが、県下でも全市町村四一カ所で開催され、人権擁護委員一七四名が参加した。その結果、相談件数は四六件にのぼった。相談内容は世相を反映し、社会問題・地域の人間関係や家族間におけるトラブルが多かった。

相談内容が複雑化するにつれて、委員に救済までを期待する向きがあることから、人権救済委員会の必要性が増したといえる。

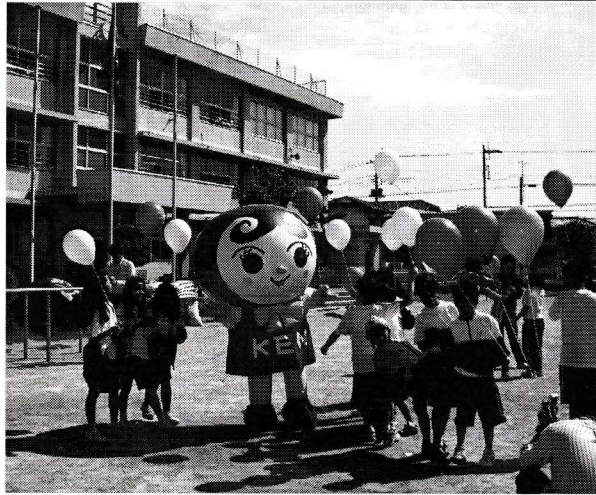
なお、今回の特設相談日における相談内容の内訳は、次のグラフの通りである。

人権擁護委員の日特設相談
全市町村一斉に開催

各地で人権の花運動実施

「大空に風船飛んだ」

今年も五月二一日の豊岡小学校(身延町)を皮切りに、県内一七の小学校で「人権の花」運動が展開された。「人権の花」贈呈式に続いて、各校とも恒例の風船飛



ばしが実施されたが、花の種と子どもたちのメッセージを運ぶ風船が空高く舞い上がると、校庭には大歓声がかぎりました。色とりどりの風船が大空に吸い込まれていく光景は、大きな感動を呼び、子どもたちの脳裏に深く刻み込まれたようだ。メッセージカードには、

『ともだちを大切にしよう』『もう、けんかをしないようにしよう』などと思いのメッセージ。風船は

風に乗り、神奈川県平塚市(北杜市明野小学校)を始め近県各地に舞い下りて、すでに何通もの便りが子供たちのもとに寄せられている。

全校児童四一名の上野原市桐原小学校には、鴨川市に隣接する君津市三島小学校の一年生全員(五名)から手紙が送られて来た。桐原同様、美しい自然に囲まれた山間の小学校だとのこと。

なお、本年度「人権の花」運動で特筆すべきは、千代田小学校(甲府市)と沢松小学校(上野原市)の二校だろうか。

千代田小学校では、隣接する社会福祉法人「千代田荘」一五名との合同実施となった。

また沢松小学校は、本年度選定の一七校とは別途、学校側からの強い要望で実現の運びとなったもの。協議会独自の対応、上野原市の後援による実施だった。

「人権の花」はさまざまな形で大きく花開こうとしている

人権救済委員会が発足

近年、増加傾向にある人権侵犯事件に対して、迅速かつ的確な被害者の救済体制を確立する目的で、理事会等の議論を経て、「人権救済委員会」の設立が、県連定時総会において提案・承認され、本年度の委員に次の方々に委嘱し、同委員会が正式に発足した。

- 早川陽一朗 ○齊藤萬里子
 - 齋藤勝久 ○神宮寺安子
 - 中込成子 ○佐藤 溥
 - 田中正志 ○神宮司由則
 - 弦間 泉 ○久保田幸司
 - 上野敬一 ○古井明男
 - 桜井義長 ○土橋 伸介
 - 深澤 歳一 ○小林 一夫
- さらに、六月二五日の委員会において、次の役員が選出されている。
- 古井 明男 (委員長)
 - 上野 敬一 (副委員長)
 - 佐藤 溥 (事務統括)
- なお、県連事務局より次の二名が参加し委員会の運営に協力する。
- 増坪 總明 ○土肥 一豊
- 全国的に見て委員会を設

委員から一言

雑感 委員二年目

「心の鮮度」

秋山 泉(韮崎)

人権作文の栃木の山崎君、素直さが滲み出て感動した。人と人との出会いはまず挨拶。これが出来ないと始まらない。勇気をもって強く声を出して皆に挨拶。それは感謝の心、思いやりの心が元になる。委員二年目の私にとって関わることの総てが新鮮だ。新鮮に感ずる心の鮮度を維持し、相談や啓発活動に対峙してみたい。

退任された委員の方々

平成一九年六月〜七月付で次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。(敬称は略させていただきます。)

- 渡邊百合子(笛吹市)
 - 鶴田邦夫 岡部佳高
 - 大澤明子(以上山梨市)
- なお、長坂晴義委員(甲斐市)は五月二九日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

事務局から

□七、八月には各地で夏祭りの啓発活動が行われます。日程については甲府地方事務局人権擁護課カレンダーをご覧ください。

□富士山の山頂で啓発活動をする計画が進められています。詳細については次号でお知らせします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

編集後記

本号から紙面を変更しました。ご意見・感想などお寄せください。年四回の発行ですが、投稿も随時お待ちしております。